重点施策１０　親しむ視聴覚教育の拡充と推進

【施策方針】

学校教育、社会教育における視聴覚教育の振興を図るため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、視聴覚の円滑な利用促進を図る。

【実施状況】

（１）主な施策・事業

①　視聴覚教材の有効利用と指導者の養成

②　視聴覚ライブラリー保有機器・教材の充実

（２）施策・事業の実施状況

①　視聴覚教材の有効利用と指導者の養成

視聴覚ライブラリー教材を利用した「アンコール子ども映画会」を毎月 1 回、第 4 土曜日を中心に実施した。人間形成の大切な時期に視聴覚教材を通して、心豊かな人間性を養うことを目指して、親子で楽しい時間を過ごす機会を提供した。子どもたちの休日の有効活用や豊かな心を育む情操教育の一助になればと考えている。なお、平成 28 年度の利用者数は 27 名であった。

また、幼稚園、保育所、児童クラブ等へ出向いての「出前映画会」を実施し、21 施設 411 人が視聴した。

愛媛県視聴覚教育協会が実施しているホームページ作成学習会、プレゼンテーション作成学習会、教育機器実技研修会（ビデオ、電子黒板）などの研修会参加を広報などで市民に呼びかけ、参加者の資質向上を図っている。

16 ミリフィルムのＤＶＤ化を検討し、よりよい画像を残していきたい。

②　視聴覚ライブラリー保有機器・教材の充実

16 ミリ映画フィルム 167 本、ビデオ教材 718 本、ＤＶＤ教材 61 本を保有している。平成 28 年度は 16 ミリフィルムの貸出は無く、ビデオ・ＤＶＤ等の貸出は 43 本あった。

機器で活用が多いのはパソコン対応型プロジェクターで、単に写すだけでなく、パソコンに接続し研修するケースが増えている。

【事務事業点検評価委員意見】

○　視聴覚教材を使った親子での「アンコール映画会」など子どもの情操教育を高める上で、これからも充実してほしい。

○　視聴覚教材は、時代とともに変わってきているので利用者ニーズに対応できるように更新等考えてほしい。

【自己評価】

□　毎月第４土曜日に実施している「アンコール子ども映画会」は、減少傾向である。機材を持って出張している「出前映画会」は利用回数が増加している。「出前映画会」の利用者が増えているのは、長期休業中の保育所と児童クラブの利用が大幅に増加しているためである。

　夏休みに、「みなと交流館ホール」で映画会を実施しているが、事前にチラシを配布するとともに、当日館内放送で呼びかけることにより、利用者が増加している。

　今後は、定期の「映画会」のあり方を工夫・改善しながら、子どもたちの情操教育を高め、人間形成の一助となるよう、「映画会」を継続していきたいと考えている。

□　視聴覚ライブラリーでの貸し出し・活用件数の最も多いのは、パソコンとプロジェクターである。今後は、「貸し出し」とともに、「ホームページ」の活用や「動画配信」等の、どこでもだれでも利用できる視聴覚の方法も考えてみたい。

　財政面で厳しい時ではあるが、なんとか予算化に努め、タブレット等の活用も含めＩＣＴ化を図っていきたい。